

「戦前中国・朝鮮における日本租界の研究
—日本人社会の形成，変容，消滅にいたるプロセスの解明」
(2006年～2007年)

(1) 共同研究グループの組織と課題

詳細は本共同研究のホームページ

<http://human.kanagawa-u.ac.jp/kenkyu/group/nittsu/index.html> を参照。

(2) 研究活動の報告

本共同研究グループ（以下，租界研究会と略称）は，2000年以降の中国の旧日本租界に関連する研究の中間成果を大里浩秋・孫安石編『中国における日本租界—重慶・漢口・杭州・上海』（御茶の水書房，2006年3月）として出版し，2006年4月から新たな調査を始めた。以下，2007年4月以降の研究活動について記す。

① 2007年5月23日（水）租界史研究会例会を開催。



② 2007年7月17～18日（水）租界史研究会—朝日新聞大阪支局・富士倉庫の戦前写真

【場所】朝日新聞大阪本社（現地集合）

【日時】2007年7月18日（火）午前9時—午後5時

【内容】朝日新聞大阪支局・富士倉庫の戦前写真資料の調査



③ 2007年7月22～27日（金）租界史研究会—青島の在華紡関連社宅の建築調査

【場所】中国青島（青島市档案馆，旧公大紗廠の社宅調査）

【日時】2007年7月22日（日）～27日（金）

【内容】(1) 青島市档案馆が所蔵する旧日本人関係の資料調査

(2) 青島の旧公大紗廠社宅の建築調査



④ 2007年7月22～27日（金）租界史研究会—長春の旧満鉄附属地の調査

【場所】中国長春（吉林大学，吉林省档案馆など）

【日時】2007年7月22日（日）～27日（金）

【内容】吉林大学，吉林省档案馆などが所蔵する満鉄関連資料の調査



⑤ 2007年10月26日（金）

ワークショップ「中国進出の日本企業とその建築―戦前の紡績業を事例として」

【場所】 神奈川大学・横浜キャンパス1号館308室

【日時】 2007年10月26日（金）14時～16時

【主催】 神奈川大学・共同研究「戦前中国・朝鮮における日本租界の研究」

司会：大里浩秋（神奈川大学）

報告：

(1) 「上海と青島の在華紡建築の調査報告」 富井正憲（神奈川大学）

(2) 「日本の紡績建築―兵庫県を中心に」 藤谷陽悦（日本大学）

(3) 「在華紡と中国」 富澤芳亜（島根大学）

(4) 「近代日本の青島での紡績業及山東経済の変遷」 庄維民（山東省社会科学院）

コメンテーター：貴志俊彦（神奈川大学）・孫安石（神奈川大学）

⑥ 2007年12月13日（木）

【場所】 神奈川大学・横浜キャンパス17号館法学部会議室

【日時】 2007年12月13日（木）18時30分～20時30分

【内容】

(1) 事務局打ち合わせ

(2) 「領事裁判研究の新視点」 中網栄美子 氏（早稲田大学講師・日本法制史）

本共同研究の学内研究奨励は2007年度をもって終了する。租界とアジアに関連する本共同研究は引き続き活動を継続すべく学術振興会の科研費を申請中である。学内研究奨励による2年間の成果を今後の研究に生かすべく活発な研究活動を展開していきたい。

（孫安石）